

# うめのき幼稚園だより

げんきもりもり

えがおにここ

ひとみきらきら

5月

令和6年4月30日  
北区立うめのき幼稚園



## 「もっと」の気持ちを支えて

園長 篠澤 恵理

年少りす組では、空き箱で動物や車を作ることを楽しむ姿が見られています。紙テープを長く付けて、ペットのように連れて歩いています。また、ブロックでロボットを作っている子は、形や色をよく考えながら組み立てています。遊びが楽しくなると、「もっと作る。」と言っては、繰り返しています。毎日同じように作っていることも、その子なりの思いが積み重なっているのので、小さな変化を見付けるのが楽しみです。

年長もり組は、グループの仲間と一緒に「こいのぼり」を作りました。何色にするかを決めたり、模様の付け方を伝え合ったりしたことが誇らしい様子で、どのように作ったのかを次々と説明してくれました。見ると、こいのぼりの模様が隅々までたくさん貼られていて、グループごとの会話が聞こえてくるようでした。友達に思いを伝えたり、友達のやりたいことを聞いたりすることは、難しい場面もありますが、この様な活動でのやり取りを通して、友達と力を合わせる喜びを感じてほしいと願っています。

自分でやってみようと思ったことが実現していく過程には、ゆったりと思い巡らす時間と、安心してできる空間と、個々のペースに合わせながら、やり遂げるまで見届けてもらえる温かな仲間が大切であると考えます。仲間は、友達だけでなく、時には教師や親もその役目となれる場面があります。子どもたちのまなざしの先にあることを、横に並んで一緒に見つめてみると、心を動かしていることが伝わってきます。これからも、子どもたちの心にある「こうしたい」と思う気持ちに寄り添って、「もっと」の気持ちにつながるきっかけとなるように支えてまいります。



## えがおにここコーナー



子どもたちは、心地よい春風の中を元気いっぱい遊んでいます。近くで遊ぶ友達の姿を、じっと見たりまねてみたりと、子ども同士で影響を受け合っています。自分の好きなことを見つけて、ゆっくりと環境に関わりながら、伸び伸びと遊んでほしいと願っています。

進級したもり組は、りす組のことを気遣う優しい場面がたくさん見られています。人と関わる楽しさや、役に立つ喜びを感じられるよう、様々な体験の機会を大切にしております。



【もり組：草花のご馳走作り】



【りす組：クレヨンの散歩】



【りす組を優しく支えるもり組】